

令和5年度 第4回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和5年7月18日 午前9時30分から

場所 宍粟市役所 4階 402・403会議室

第4回（定例）宍粟市教育委員会会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和5年7月18日（火） 午前9時30分～10時20分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6 宍粟市役所 4階 402・403会議室

● 会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人 教育長

片山繁樹 委員

飯田さおり 委員

金本一二 委員

中川まゆみ 委員

事務局

大谷奈雅子 教育部長

大砂正則 次長兼教育総務課長

小池信仁 こども未来課長

水口恵子 社会教育文化財課長

大北真彰 山崎学校給食センター所長

岩本浩二 教育総務課副課長

小河秀義 教育部次長

中田 吏 学校教育課長

岡内由里 こども未来課長（指導担当）

西林文隆 次長兼施設整備課長

中尾善弘 次長兼まちづくり推進課長

1 開会

中田教育長が開会した。

2 会議の成立宣言

出席者数5名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、飯田委員に決定した。

4 前回会議録の承認

令和5年度第3回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の会議録について、大砂次長兼教育総務課長が説明し、承認された。

5 教育長報告

次の5点について、中田教育長が報告した。

（1）小中学校・幼稚園・こども園幼稚園部の夏休みについて

小中幼は7月21日から8月31日まで夏休みとなる。少しコロナ感染が気になる状況にあるが感染拡大しないことを願う。無事に1学期が終了したので子どもも教職員もしっかり

とリフレッシュして2学期に向かってほしい。子どもたちが夏休みならではの豊かな体験により、一回り大きく成長してほしいと思う。

(2) 山崎南中学校学校規模適正化に向けた対応について

山崎南中学校区の学校規模適正化の方向性について、地域の委員会から報告を受けたので、この後、ご審議願う。

(3) 教育研修所教育研究大会について

8月4日に教育研究大会が開始される予定。時間が許す限り委員にもご出席いただきたい。

(4) 学校給食費に関するチラシの配布について

総合教育会議でもテーマに取り上げた持続可能な学校給食の在り方について、保護者の皆さまにチラシを配布し、意見を受け付けしている。この後、担当より報告する。

6 議事

第4号議案 山崎南中学校区学校規模適正化について

資料1～2Pにより、山崎南中学校区における学校規模適正化に係る方向性について、地域の委員会における協議結果が報告されたことを受け、今後、その協議結果に基づき学校規模適正化を推進することについて、大砂次長兼教育総務課長が説明した。

あわせて、関連があることから、協議報告事項の(3)山崎南中学校区学校規模適正化推進状況について、資料3【5P】及び別添資料により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。

審議の結果、第4号議案は、提案どおり可決した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

学校規模適正化について、今後、地区協議会を立ち上げる流れだが、メンバー構成等がわかれば教えてほしい。また、適正化が推進されると各学校が開校と閉校の事務を進めながら、児童の指導、記念行事の開催、記念誌の作成など、負担がかなり増えるため、事前の確認や打合せ等を十分に行っていただきたい。

(大砂次長兼教育総務課長)

協議会のメンバーは20人程度を予定しており、人選については、両地区の自治会長、両校のPTA会長とも相談しながら決めていきたい。また、学校には、地域の委員会の翌日に訪問し、令和7年4月開校に向けての準備をお願いしている。教育委員会と学校で連携し、協力しながら進めていきたい。

7 協議報告事項

(1) 令和5年8月～ALTの配置予定について

資料1【3P】により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。

(2) 通学路交通安全推進協議会の協議状況について

資料2【4P】により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。

(3) 山崎南中学校区学校規模適正化推進状況について

(議案第4号で説明済のため省略)

委員の主な意見及び事務局の説明

(金本委員)

通学路の安全点検について、千種小と千種中は小中一貫教育が行われているが、通学の時間帯以外にも児童生徒が小中を行き来することがあると思われるため、その部分も留意し、点検を行っていただきたい。

(大砂次長兼教育総務課長)

小中一貫教育など学校間の交流の関係で使用する道路についても、学校と調整し点検を行う。また、幼稚園・こども園・保育所で、散歩道として使用する道路についても、点検を行う予定としている。

(片山委員)

県道の白線や横断歩道が消えかかっている箇所が多くあり、引き直すにも材料費の高騰で多額の費用がかかるとの新聞報道があったが、実際に市内でも簡易スプレーで仮に修繕されている箇所もある。予算の問題はあるが、特に必要となる横断歩道や白線については、学校と早めに確認していただきたい。

(大砂次長兼教育総務課長)

今年度は通学路の合同点検があり、また第2回の通学路交通安全推進協議会も予定していることから、学校等と早めに調整し、確認・点検を進めていきたい。

(中川委員)

ALTは全員女性だが、何か理由はあるのか。

(大砂次長兼教育総務課長)

以前は男性も女性も派遣されていたが、今は女性のみとなっている。

(4) 栄栗市小中一貫教育の進捗状況について

資料4【6～11P】により、中田学校教育課長が説明した。

(5) 令和5年度しろう学力向上検討委員会について

資料5【12P】により、中田学校教育課長が説明した。

(6) 令和5年度宍粟市教育研修所教育研究大会について

資料6【13P】により、中田学校教育課長が説明した。

(7) 学校給食費に関するチラシの配布について

資料7【14P】及び当日配布資料により、大北山崎学校給食センター所長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(中田教育長)

山崎南中学校区の小中一貫教育については、現在の事務局案として令和7年4月スタートを想定しているが、報告のとおり、城下小学校と戸原小学校の学校規模適正化についても同じく令和7年4月を開校目標としている。

小中一貫については小学校と中学校の縦の連携の協議、適正化については小学校同士の横の連携の協議であって、どちらも労力を必要とする大きな仕事であり、小中の教職員とも相談していく必要があるが、進め方としてさまざまな考え方がある。

令和7年4月に適正化を実施し次の段階として例えば令和8年4月に小中一貫をスタートする方法、また、令和7年4月に適正化も小中一貫も同時にスタートする方法などが考えられるが、委員の皆さんにお考えがあればお聞かせ願いたい。

(片山委員)

すでに小中一貫を実施した地域では、小学校の適正化が実施されており、また、学校運営協議会も小中あわせて地域で1つという形で設置されていた。

学校運営協議会を新たに設置するということになると、アンケートの作成や会議の開催など、地域のビジョンと学校のビジョンを重ね合わせていく作業が必要なことから大変な労力となる。

同時にスタートするときりはいいのだが、小学校の適正化でいっぱいいっぱいのことを考えると、適正化と小中一貫は別のスタートを考えていくのが良いかと思う。

(金本委員)

城下小と戸原小の適正化は、どれぐらいの期間がかかったのか。

(大砂次長兼教育総務課長)

約10年の期間を要している。

平成22年10月に地域への説明を行った後、平成24年6月から平成25年2月にかけて、地域の委員会で協議が行われ「城下地区・戸原地区それぞれで幼保一元化の協議から先に進め、学校規模適正化の協議については当面の間繰り延べる。」と決定された。その後、幼保一元化の協議等が進んだことから、令和4年度以降、あらためて学校規模適正化の協議を再開し、この度、地域の委員会から適正化を推進することについて報告を受けた。

(金本委員)

地域の方々の理解を得てやっと一つの学校になるところ、それが直ぐに小中一貫も始まってとなると、少し混乱のうちに小中一貫が始まったと感じられるように思う。

千種地区の場合は、従前から幼小中高で合同の行事がたくさん行われており、地域として理解があったかと思われ、小中一貫の話が進めやすかったのではないかと思います。

新たに協議を始めるには、委員の選任も難しいかと思う。

学校が適正化になって、直ぐに小中一貫も始まるとなると、地域の理解を得るには大変な労力が必要になるかと思う。

(中田教育長)

小中一貫教育に対する期待や、教職員の負担感等を考慮しながら、8月2日には現場の教職員への説明会を開催するので、しっかりと意見を吸い上げ検討していきたい。

(8) その他

なし

8 次回会議の招集について

令和5年8月17日(木)午前9時30分から、宍粟市役所4階402・403会議室において、令和5年度第5回宍粟市教育委員会を開催することとした。

9 閉会

片山委員が閉会した。